

～能代地域生活支援センター 児童発達支援～

事業者向け

児童発達支援自己評価集計表結果

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・活動内容によっては、広い部屋に変えて対応しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	8		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		・必要な情報が入るようにしています。 ・構造化の工夫を行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		・職員間で振り返り（活動や対応等）をしながら、次に繋がるように努力しています。 ・日々の活動の振り返りを行っています。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	8		・検討（話し合い等）し、対応できるところは取り組んでいると思います。 ・可能な限り、改善に繋げています。
	⑦	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公表している	8		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		・外部講師による研修会（2回）がとても良かったです。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		・日々の様子や、保護者からの話を聞きながら作成に努めています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		・6ヶ月に1度のモニタリング以外にも通所の際に、子どもの様子について共有を行っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		・意識しながら関わっています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		・各月ごとに担当を決め、考え、内容に偏りがないように努めています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		・同上
	⑯	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		・集団参加が難しい子どもに関しては、個別のみの対応とする等の配慮をし、計画へ反映しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・朝のミーティング時や、必要時に適宜確認しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・必ず終了後は振り返りを行い、共有しています。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		・個別日誌や活動記録をとり、振り返りや次の課題設定に繋げています。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		・6ヶ月に1度を必須として、適時子どもの状態により見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		
	㉓	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8		・保育、教育機関並びに、医療機関（小児科）とは定期的に発達状況の記録で連携をとり、支援に繋がっています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		8	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・併用施設への見学、当事業所への見学等で児童の状態把握や情報共有を行い、相互理解に努めています。（移行支援と謳ってはいません）
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・地域の小学校、支援学校への見学（保護者同行）等で、情報共有、相互理解に努めています。（移行支援と謳ってはいません）
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・巡回相談を実施していて、その中で連携、助言を受けています。 ・今年度、支援学校の教育専門監の先生より、具体的支援に活かせる研修を受けました。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8	

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		8	・地域に子ども部会等協議会が設置されていません。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・個別支援後や、保護者の状況で話せる時間を持てるように努力しています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8		・保護者からの相談については、可能な範囲で助言や、情報提供等を行っています。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		・契約時、内容変更時等行っています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・保護者の思いに寄り添うように努めています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		8	・父母の会等は設置されていません。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		・児童発達支援管理者を主に、丁寧に対応させてもらっています。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		・年2回事業所全体の会報(今年度は1回)と、毎月の児童用月案を発行しています。
	③⑱	個人情報に十分に注意しているか	8		

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		・今年度1回目のセンター祭りを開催しました。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		・事業所全体の避難訓練と、マニュアルは作成して、いつでも見られるように提示、設置しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8		・緊急時対応について、保護者からの記載で共有し、服薬についても事前に情報を得ています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		8	・現在医師の指示書での対応児童はいませんが、必要時は医師の指示書に従い、保護者と共有し、対応していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		・ヒヤリハットや、事故が起きた時は、皆で検討共有し、記録に残しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		・毎月チェックリストで確認と、必要に応じ聞き取りを行っています。また年1回、研修も行っています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		・対象となる子どもはいませんが、必要な場合は十分に説明し、同意、理解を得て書面で確認します。また、定期的な見直しや、有事の時は職員間でしっかり話し合います。